

第6次朝日町総合計画の策定に向けた町民アンケート調査

報告書

令和2年5月

朝日町

調査の概要

(1) 目的

令和3年度からの町政運営の指針となる「第6次朝日町総合計画」の策定に向け、町民のニーズを踏まえ、町が目指すべき施策の方向性を点検し、重点化すべき施策をとりまとめるため、町民を対象にアンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象

朝日町に居住する満16歳以上の男女2,492名を対象

(3) 実施方法

郵送配布・郵送回収法による

(4) 調査期間

令和2年3月～令和2年4月

(5) 回収率

回収率40.9%（回収数1,018票／配布数2,492票）

【調査の信頼度（95%を設定）に必要な有効回収票366票を上回る】

(6) 調査項目

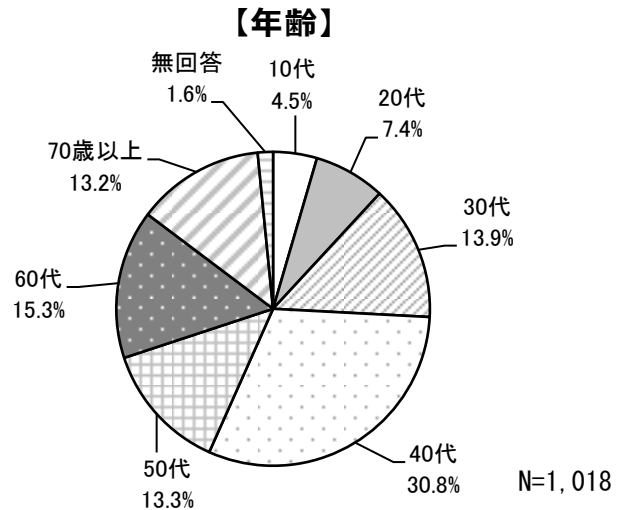
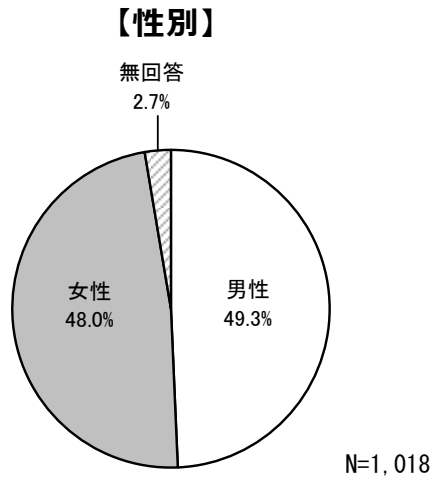
- 回答者の属性について
性別や年齢など、回答者ご自身のことについて伺いました。
- まちへの定住意向について
今後の定住意向について伺いました。
- まちの将来像に係るまちづくり分野の優先度について
今後のまちづくりを進めていくうえで、優先的に取り組む分野の順序付けを行っていただきました。
- まちづくり施策の現状評価と今後の取り組み優先度について
まちづくり分野ごとの具体的な施策内容について、現状の満足度評価と今後の優先度について伺いました。
- 回答者のまちづくり等に係る行動について
日頃の地域活動や環境配慮行動などについて伺いました。
- 協働のまちづくりを進めるための必要事項について
町民参画・協働のまちづくりを進めていくうえでの必要な事項について伺いました。
- 役場庁舎の建替えについて
役場庁舎の建替えに関する賛否や、その理由などについて伺いました。

調査の結果

1. 回答者の属性

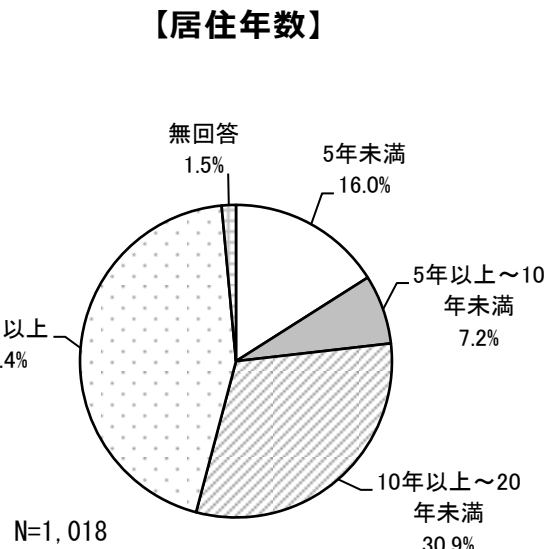
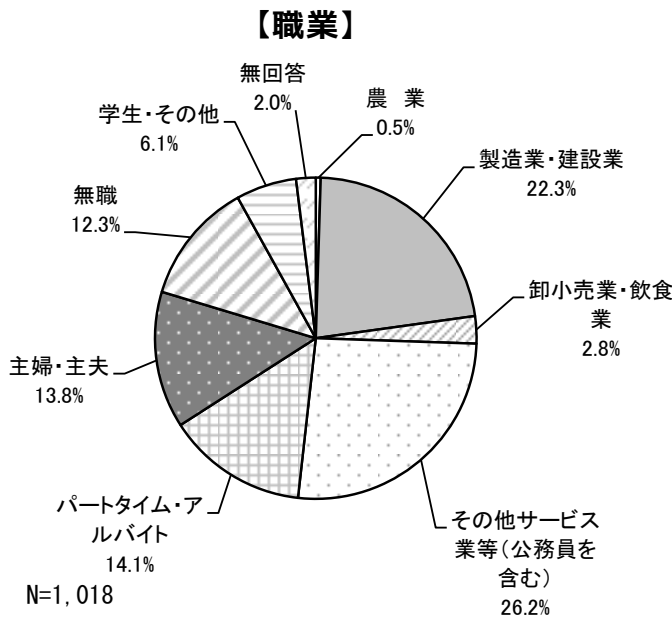
(1) 性別・年齢別

- 回答者の男女の割合はほぼ同数となっています。
- 回答者の年齢構成は、40代と高齢層が多くみられます。



(2) 職業・居住年数

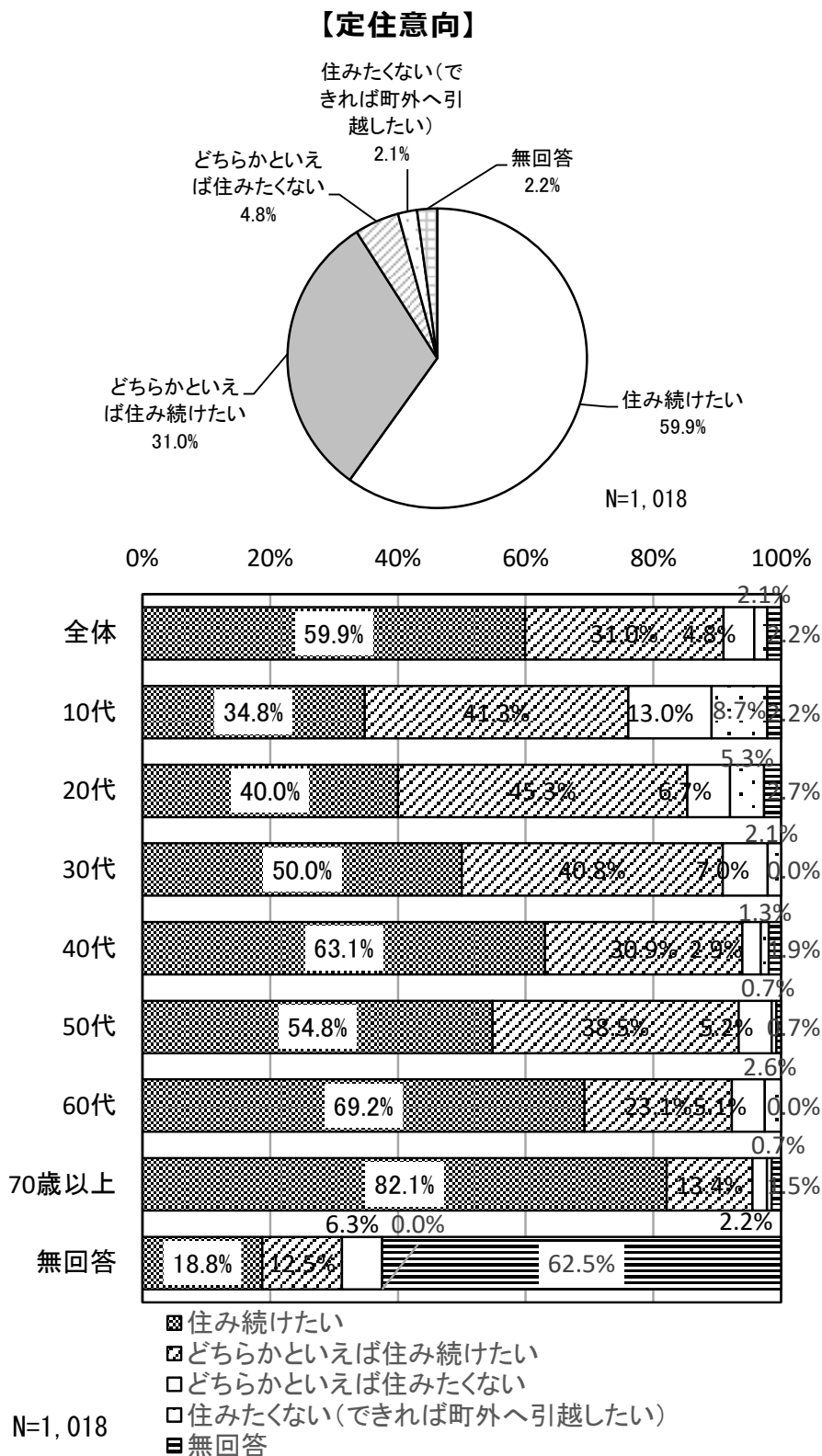
- 回答者の職業は、サービス業、製造・建設業、パートタイム、主婦、無職などの割合が多くなっています。
- 回答者の居住年数は、20年以上の長期居住者が約半数を占めています。また、5年未満の方も2割近く見られます。



2. まちへの定住意向について

○住み続けたいと思っている方が9割あり、一方、住み続けたくないと思っている方は1割未満となっています。

○年代別に見ると年齢が高くなるに従い、定住意識が強いことがうかがえます。



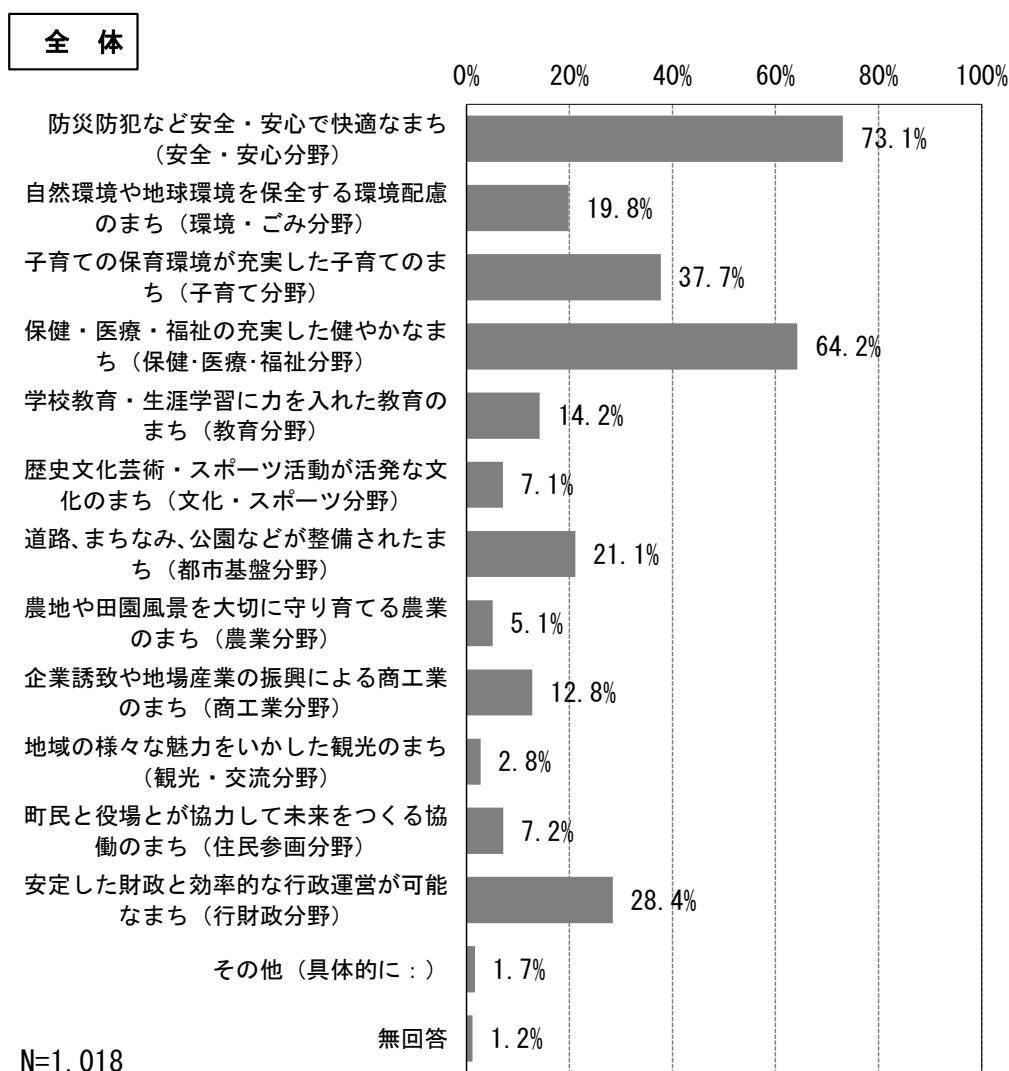
3. まちの将来像に係るまちづくり分野の優先度について

○まちづくりの特色として上位5位にあげられた分野は以下のとおりです。

- 1位 安全・安心分野 73.1%
- 2位 保健・医療・福祉分野 64.2%
- 3位 子育て分野 37.7%
- 4位 行財政分野 28.4%
- 5位 都市基盤分野 21.1%

○年代別でみると、各年代層とも安全・安心分野が上位にあげています。子育て世代である20代、30代は他の年代に比べ子育て分野への意向が高くなっています。

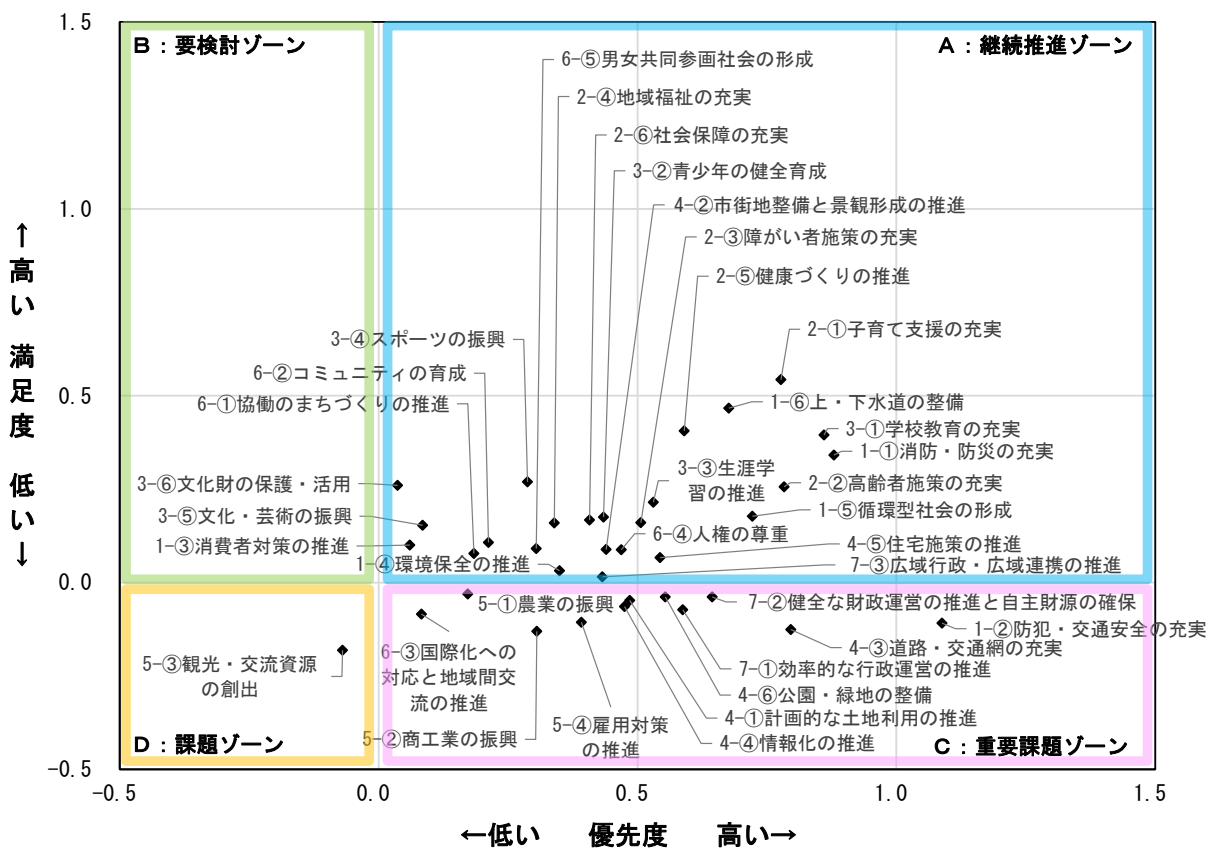
【将来のまちづくり分野の優先度】



4. まちづくり施策の現状評価と今後の取り組み優先度について

- まちづくりに関する36施策項目について、現状評価と今後の優先度（重要度）について伺いました。
- この結果を満足度の平均値と優先度の平均値をもとに、下図のような、継続推進ゾーン、要検討ゾーン、重要課題ゾーン、課題ゾーンの4つのエリアに分け、散布図を作成しました。
- その結果、「安全・安心、環境分野」、「保健・医療・福祉分野」、「教育・文化分野」、「住民参画分野」については満足度・優先度ともに高い「継続推進ゾーン」に位置しています。
- 反対に、満足度は低いが優先度が高い「重要課題ゾーン」には、「都市基盤分野」、「産業分野」、「行財政分野」が多く分布しています。

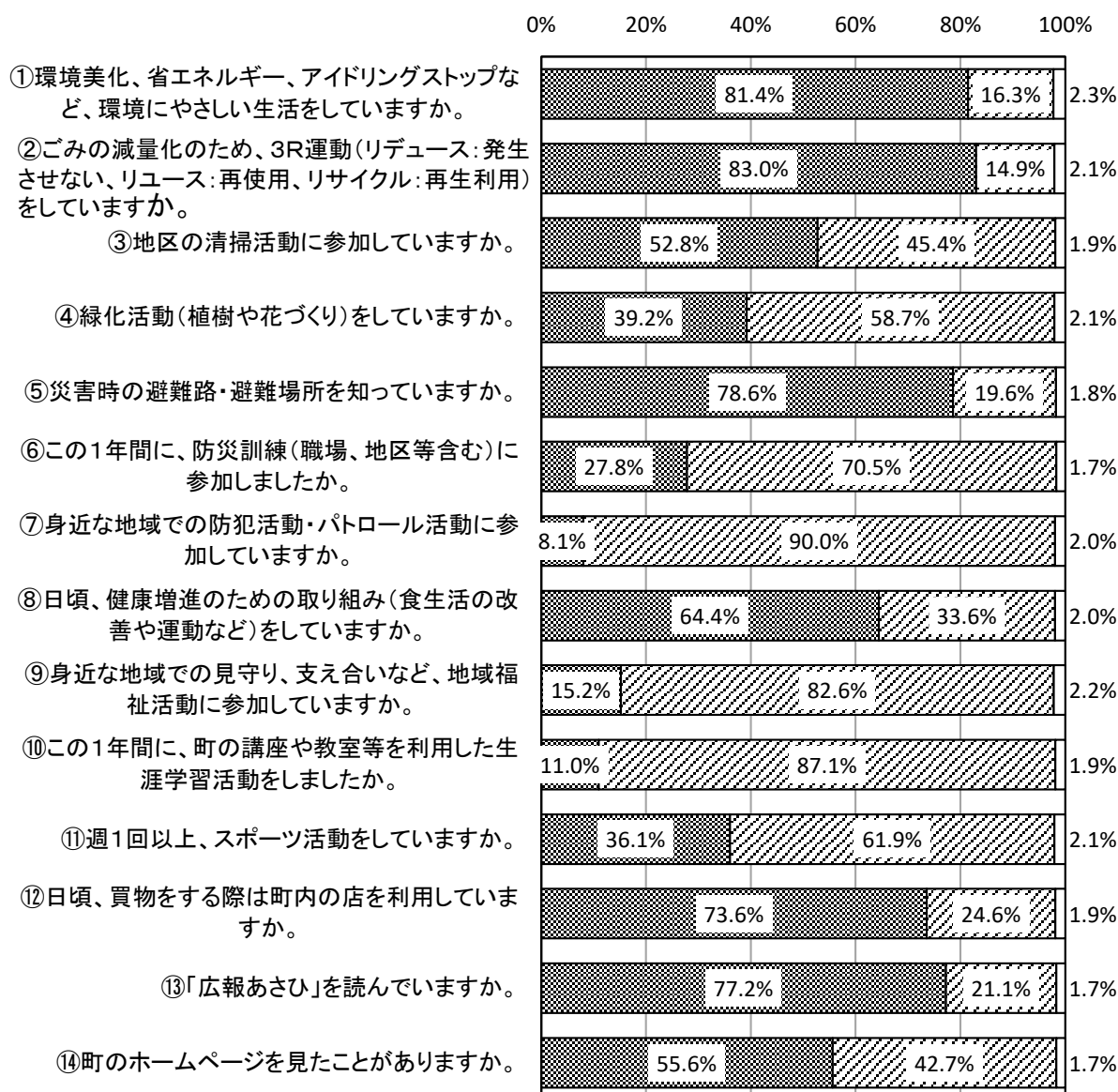
【まちづくり施策の現状評価と優先度の分析図】



5. 回答者のまちづくり等に係る行動について

- 町民の日頃の取組をしている事項としては、環境美化、ごみの減量化、災害時の避難路・避難場所の確認、健康増進のための取り組み、町内での買い物、「広報あさひ」の通読などがあげられています。
- 一方、していない事項としては、防災訓練への参加、地域での防犯活動、地域での見守り活動、生涯学習活動などが半数以上を占めています。

【日頃のまちづくりに係る取組行動の状況】



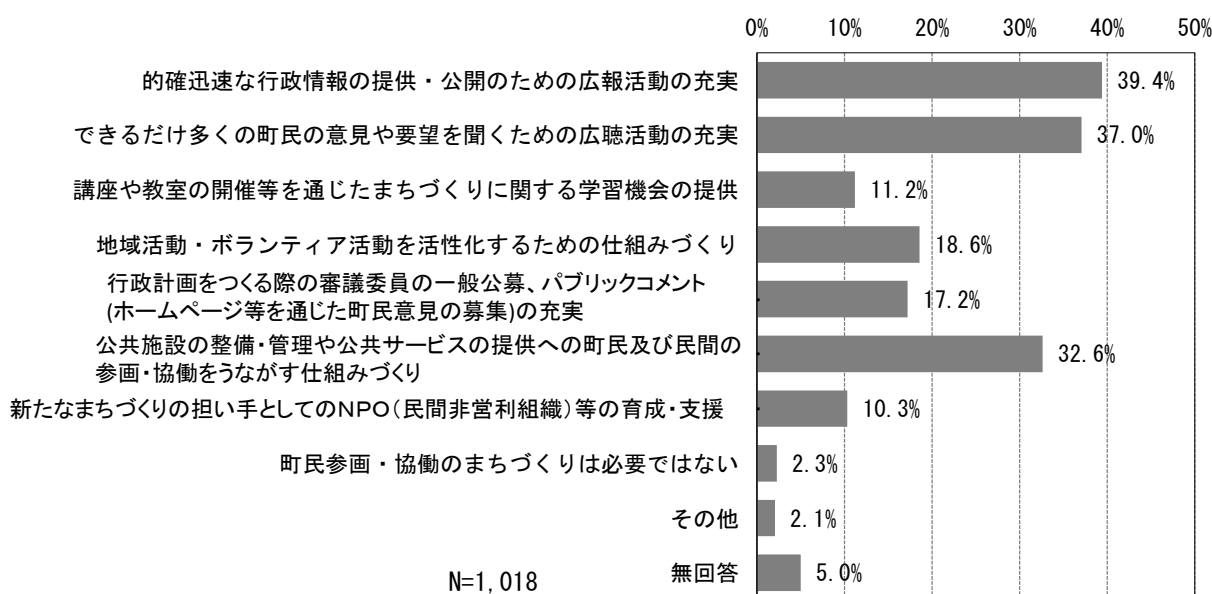
N=1,018

■している □していない □無回答

6. 協働のまちづくりを進めるための必要事項について

- 参画・協働のまちづくりに必要なこととしては、「的確迅速な行政情報の提供・公開のための広報活動の充実」、「できるだけ多くの町民の意見や要望を聞くための広聴活動の充実」、「公共施設の整備・管理や公共サービスの提供への町民及び民間の参画・協働をうながす仕組みづくり」が主な内容としてあげられています。

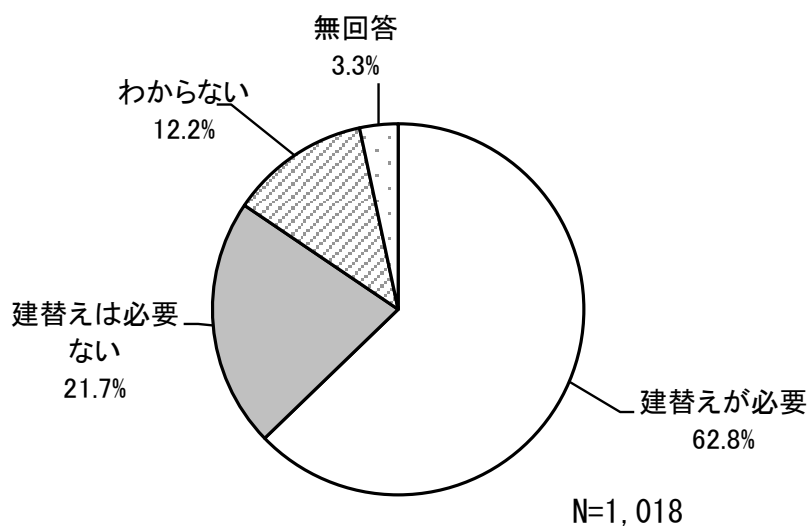
【町民参画・協働のまちづくりを進めるための必要事項】



7. 役場庁舎の建替えについて

- 庁舎の建替えについては、6割以上が「建替えが必要」と回答しています。
- 年代別で見ると、すべての年代で「建替えが必要」との回答が多くなっています。

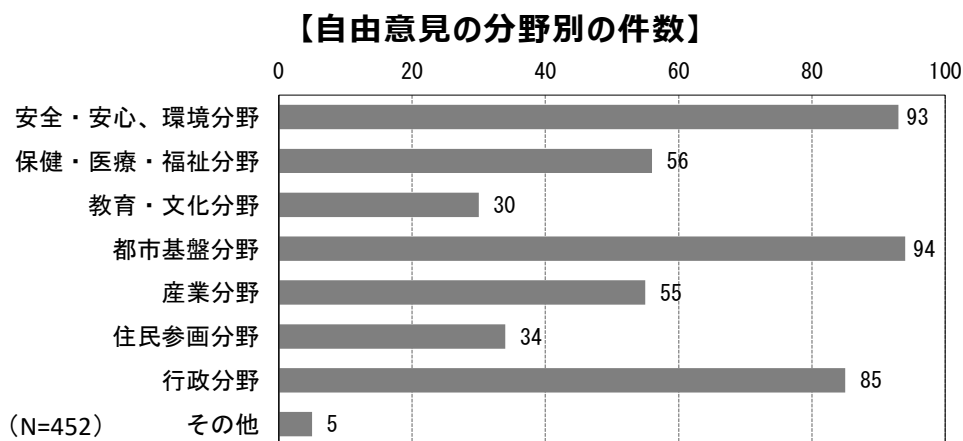
【役場庁舎の建替え意向】



	1	2	3	4	全体
	建替えが必要	建替えは必要ない	わからない	無回答	
全体	625 62.9%	217 21.8%	119 12.0%	33 3.3%	994 100.0%
10代	22 47.8%	17 37.0%	6 13.0%	1 2.2%	46 100.0%
20代	39 57.4%	18 26.5%	9 13.2%	2 2.9%	68 100.0%
30代	97 69.8%	22 15.8%	16 11.5%	4 2.9%	139 100.0%
40代	192 62.5%	72 23.5%	38 12.4%	5 1.6%	307 100.0%
50代	84 63.2%	33 24.8%	14 10.5%	2 1.5%	133 100.0%
60代	92 60.5%	32 21.1%	20 13.2%	8 5.3%	152 100.0%
70歳以上	93 69.4%	19 14.2%	12 9.0%	10 7.5%	134 100.0%
無回答	6 40.0%	4 26.7%	4 26.7%	1 6.7%	15 100.0%

8. まちづくりに関する自由意見について

- アンケートの最後にまちづくりに関するアイデア、重要だと思う意見・提案などを自由に記載していただきました。
- 内容別に整理すると 452 件がありました。これらを分野別に整理すると、都市基盤に関するものが最も多く 94 件で最も多く、次いで、安全・安心、環境分野の 93 件、行政分野の 85 件、保険・医療・福祉分野の 56 件、産業分野ま 55 件などとなっています。



最後にアンケート調査にご協力くださいました多くの町民の皆様には感謝申し上げます。

以上